

# ともに生きる

No.40

令和2年10月発行

## ご挨拶



神戸医療福祉大学後援会の会員及び関係者の皆様、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。この度、令和2年度後援会会長を務めさせていただくことになりました。微力ではございますが、この一年間、新役員、委員の方々とともに力を合わせまして、精いっぱい務めさせていただきます。

また、新入生の保護者の皆さまには、ご入会を歓迎すると共に、4年間となりますが、後援会へのご協力を改めて宜しくお願い致します。

昨年度末から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業式や入学式などの行事が中止となり、6月開催の後援会総会も書面開催と異例づくしのスタートとなりました。

新型コロナウイルス感染症は、現在においても収束の兆しがありません。ワクチンや特効薬がないという事もあり、社会全體が移動を抑制され、経済の停滞が起り、先行きが全く読めないなど、人々を不安にさせています。新しい生活様式を強いられ学業、就職に大きな不安を抱えた中、初めての経験となる遠隔授業でのスタートとなりました。思うようにカリキュラムが進められないジレンマを、学生も大学側も抱えていると思います。

そして何よりコロナウイルス感染症の収束の目処がたたない不安と恐怖に誰もがストレスを抱えて生活をしていると思います。

しかしながらこのような苦境においても、学生たちが健康で毎日楽しく、意図する職業に就けるよう、また大学生活を送れるように、後援会は大学と連携を図り、学生の福利厚生に関する事業等を支援していきます。

また、都築学園創始者は「時代を創造する青年の個性を伸ばし、自信をつけさせて世界に送り出したい」と言われています。学生たちは、自然豊かなキャンパスで伸び伸びと勉学、課外活動に励んでいます。一人でも多くの学生が、社会福祉士・介護福祉士等の国家試験や、保健体育の教員免許取得に向けて勉学に励むとともに、専門実習を行い、自らの個性を伸ばし、人間性を豊かにし、力強く未来へ羽ばたくことを願っています。

最後になりますが、福崎町の方々は神戸医療福祉大学の学生を温かく見守っていてくれます。大学の教職員、地域の方々、そして保護者が連携し、この苦境を乗り越え、実りの多い学生生活となる事を心から願うとともに、会員皆様のご健勝をお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。

## 目次

・会長挨拶	1
・大学代表挨拶(学長)	2
・人間社会学部長挨拶・前期の授業を振り返って	3
・新型コロナで変わる就職事情・これまでの10年、これから10年	4
・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う大学の授業対応について	5
・新型コロナウイルス感染防止対策について	6
・後援会より教育活動・防犯対策の支援をしていただきました	7
・開学から20年を振り返って・歴代学長紹介	8
・20年の歩み -開学から20年を振り返って-	9・10・11
・新任教員紹介・今後の主な学事日程・播彩祭中止のお知らせ	12



## ご挨拶

神戸医療福祉大学  
学長 都築 明寿香

神戸医療福祉大学後援会の皆様方には、平素より本学の大学運営ならびに教育・研究活動に多大なご理解とご支援をいただいておりまこと、心より厚く御礼申し上げます。

今年初めより新型コロナウイルス感染症が拡大する中、本学では3月の卒業式ならびに4月の入学式をはじめ様々な行事をやむなく中止いたしました。さらに、本学の姫路キャンパス、大阪天王寺キャンパスへの来校を一時禁止するとともに、4月から始まる授業を1か月延期し、5月から原則オンラインによる遠隔授業を行うという、かつて経験したことのない事態に直面しました。新入生、在学生の皆さん、ならびにご父兄の方々には多大なる不安を与えてしまったかと思いますが、3密を避け、コロナウイルスに罹患しない、コロナウイルスを拡散させないという本学の対応と処置をご理解いただければと思います。この状況を皆で共に乗り切り、心身の健康や他人を思いやる心、共感する心を培ってくれることを切に願っております。

学校法人都築学園は1956（昭和31）年の開設以来「個性の伸展による人生練磨」を建学の精神とし、個性を伸ばし、自信をつけさせ世界へ送り出す教育を実践してまいりました。この建学の精神の基に2000（平成12）年に神戸医療福祉大学は開学し、在学生、卒業生、保護者の方々、そして地域の皆様に支えられて20周年を迎えるました。本学は、20周年を機に、時代のニーズに則した変革を自ら求め、本年度より学部名称を「人間社会学部」へと改名し、グローカル（Think globally, act locally.）に対応できる人材育成を目指し、心と身体の健康促進とスポーツを通じたコミュニケーションの充実を図るべく新たな時を刻み始めたところでございます。

未来を創造するプロフェッショナルの育成を目指す本学の取り組みにご理解いただき、皆様のご子息ご息女の学問の深化と成長を支えて頂きますよう、ご協力とご支援の程を何卒よろしくお願ひ申し上げます。



## ご挨拶

神戸医療福祉大学 人間社会学部長 中山 忠彦

後援会の皆様におかれましては、日頃から本学に対し、多大なるご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

現状、世界中の人々が新型コロナウイルス感染症と戦っておりますが、ワクチン開発の明るい兆しはあるものの、未だ終息する見通しは立たない状況です。このような中、本学では、学生たちとその周りを支える大切な人の健康と安全、将来を第一に考えてまいりました。その結果、卒業生が心待ちにしていた卒業式や新たな学生生活に希望に胸を膨らませていた新入生の入学式を苦渋の決断ではありましたが、やむなく中止と致しました。また、授業についても、4月開始を延期し、5月のGW明けからオンラインによる遠隔授業を実施してきました。我々教職員もかつて経験したことのない事態に戸惑いと苦悩の連続でしたが、オンライン授業が開始されるまでの期間に、学生がこれまでと変わりなく授業を受講できるよう様々な工夫を凝らし準備してきました。中止となったオリエンテーションに代わり、学生たちに思いを届けたい一心で、教職員一人一人が気持ちを込めて動画を作成し配信してきました。学生はもちろん保護者の皆様におかれましても多大なる心配とご不安をおかけしましたが、大きなトラブルなくオンライン遠隔授業を実施することができております。今後も、感染状況を注視し、学生の健康と安全を最優先に考え、「学びの継続」を基本方針として状況に見合った適切な講義を実施してまいりたいと思います。

本学は、「個性の伸展による人生練磨」を建学の精神として、2000（平成12）年に開学し、個性を伸ばし、自信をつけさせ世界へ送り出す教育を実践し続けてまいりました。そして、今年2020年開学20周年となり、節目の年を迎えることができました。これもひとえにこれまで神戸医療福祉大学を応援してくださった在学生、卒業生、保護者の方々、そして地域の皆様のおかげです。心からお礼を申し上げます。

本学では、20周年を機に今年度より社会福祉学部から人間社会学部へ学部名称が変更となりました。学部名称が変わつても、人のこころを理解し、受け入れ、ともに生きていこうとする「こころの福祉」をめざすことは不変です。人を大切にし、人を想い、人を活かすということを学びのベースに、これからも神戸医療福祉大学は皆様のご期待に応えるため、使命をより明確に自覚し、それを果たすべく誠実に取り組んでいく所存ですので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## 前期の授業を振り返って

教務部長 石井 恒生

新型コロナウイルス感染症拡大は、本学の授業にも大きな影響を与えました。本学では学生の皆さんやそのご家族、大学構成員の感染を予防し、健康と安全を守ることを第一に考え、GW明けの5月7日（木）より2020年度前期の授業を全面的にオンラインで展開することになりました。オンライン授業は、1) 同時双方向型（会議システムZoomを用いて授業を定められた時間に配信し、学生はそれをPCやスマートフォンなどで視聴する）と、2) オンデマンド型（授業の動画や資料を各自で視聴して、期限までに課題を提出する）の二通りの方式で実施しました。7月からは、対面による授業が不可欠な一部の授業について、感染予防策を講じながら対面授業を実施しました。いずれも短期間での準備を進めたため、特に保護者の皆様にはご心配とご負担をおかけしたことをここにお詫び申し上げます。

これらは全て初めての試みであり、前期授業期間はこれまでの大学生活には存在しなかった課題に日々直面し、苦心しながら解決策を見出すことには明け暮れていたと言わざるを得ません。新しい授業の方法、刻一刻と変わる感染状況、息つく暇もないままそれらに振り回された日々でした。そのような中にあっても、学生の皆さんが新しい状況や方法に適応する力を備えていたからこそ、8月19日（水）の前期授業期間の終了を迎えることができたのではないかと、今は率直に感じるところです。

コロナ禍の終息を見通すことは現時点では困難ですが、ウィズコロナ、アフターコロナの社会の姿についての議論が深まりつつあります。今般の危機に直面することで、学びの価値とそれを継続することの重要性、オンラインであるからこそ得ることができた学びの形、教員と学生とが相対して学ぶことの重要性などを実感し、学びの枠組みを再考する契機となりました。これらの経験を糧にして、新たな学びの姿を形にすることが、これからの中の大学としての大きな課題であると認識しています。引き続き本学の教育にご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 新型コロナで変わる就職事情

キャリアサポート部長 坂本 ひとみ

近況の景気動向では、リーマンショック以上の景気の後退が数字として出てきました。厚生労働省の発表では、コロナウイルス感染拡大に関連した解雇や雇止めが4～6月で3万人となっています。失業予備軍とされる休業者は423万人にも上っています。また、企業1社当たりの採用人数は40%もの企業で減少している中ではありますが、4年生でも1人で数社もの内定を獲得した学生もおります。

全体的には3月の合同企業説明会の中止もあり、今年の4年生の就職活動はコロナ禍で遅れています。正確には二極化しております。これは、4月までコロナの感染が拡大している中、企業は、過去にインターンシップを受けた学生の中から内定を出している動きが相次ぎました。そのため、4月の就職率は昨年を上回る結果となりました。緊急事態宣言解除後の7月を見ると内定率は昨年を下回る結果となっています。4月に内定をもらえた学生は多かったのですが、まだ就職活動をしている学生も多いという二極化です。

そのような中、3年生のインターンシップが始まりました。できるだけ早く内定を取りたいと思う3年生が、現在インターンシップに応募・参加しています。今後のコロナの動きがわからないこともあります。インターンシップで早くから多くの企業との接点を持つて就職活動に繋げたいと動いております。マイナビの調査では、一人の学生がインターンシップを受けたいと希望する企業の数は、今年は8.1社と去年より一人当たり3社増えています。例年の本学での合同企業説明会もコロナで中止となりましたが、現在、オンライン企業説明会を実施しております。

今年は、企業説明会、選考面接会、入社試験もオンラインとなりました。就職活動をする学生には不安の連続だと思いますが、挑戦し続ける時間は必ず成長の糧となります。「ポストコロナ社会」急速に進化した就職活動をキャリアサポート部ではこれからも全力で支援して参ります。

最後になりましたが、日頃より後援会の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

4



## これまでの10年、これからの10年

経営福祉ビジネス学科 教授 総谷 智雄

2010年に大阪天王寺キャンパスが開設されてから、10年の年月が流れました。この10年間に、私たちをとりまく社会環境は、大きく変化してきました。

大阪天王寺キャンパス（経営福祉ビジネス学科）には毎年、日本人学生とともに、日本語学校や専門学校での学修を経た留学生たちも入学してきます。開設当初は、留学生の出身国は中国が大半を占めていましたが、現在までの卒業生と在学生の出身国・地域は、日本と中国に加えて、韓国、台湾、ベトナム、ネパール、フィリピン、インドネシア、ミャンマー、スリランカと、多様化の流れが顕著になり、卒業後の進路も多岐にわたっております。

このような流れの中で、大阪天王寺キャンパスでは、ビジネス実務に必要なコミュニケーション能力を高め、企業経営を深く理解したビジネス人材を育成するために、実務経験が豊富な教員による、実践的なビジネス関連科目を充実させています。また、グローバルに活躍できる人材を育成するために、近年においては、国際的な人権感覚を養うための科目、多文化共生の理念を理解するための科目を新設しました。

これからの10年において大阪は、2025年の大阪万博という世界的イベントや、地球規模での人的・物的・情報的交流を経て、これまで以上に大きく変化することが予想されます。私たちは、その変化をプラスと受け止め、能動的に対応できる人材を育成していくことを考えます。

日本人学生と多様な留学生が共に学ぶ「多様性のキャンパス」である大阪天王寺キャンパスは、大阪という地域に拠点を置き、地域のさまざまな課題に取り組み、貢献しながら、世界的規模でのごとをとらえるというグローバルな感覚を、今後とも一層磨いていく所存です。

# 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 大学の授業対応について

新型コロナウイルス感染症拡大により、大学では卒業式をはじめ前期オリエンテーションや入学式など、学生にとって大切な行事が中止となりました。

また、授業に於いてはこれまで当たり前に行われてきた対面授業が実施できず、学生の負担や学習に支障が出ない様に試行錯誤しながら準備を進めた結果、5月から遠隔授業を始めることができました。

一部の実技・演習授業については、3密を回避する対応、検温と手指消毒など感染防止策を講じながら7月から実施しました。

## オンラインによる遠隔授業

会議システムZoomを用いて授業を配信し、学生はパソコンやスマートフォンで視聴・受講する  
同時双方向型オンライン授業



## 実習授業

少人数に分かれ、間隔を空けて実施



# 新型コロナウイルス感染防止対策について

## 館内入口

館内入口では「マスク着用・手指を消毒」をお願いし、来客や学生の対応時にはビニールシートやアクリル板を設置した場所で飛沫感染防止に務めています。



## 学生寮

学生寮に於いても管理人室にはビニールシートを設置、玄関では消毒と検温による体調管理を行っています。



## 学生対応窓口

学生と接する機会の多い、教務・実習・学生・就職の各課窓口でもビニールシート設置により、飛沫感染防止策をおこなっています。



## エレベーター

エレベーターは特に3密(密閉・密集・密接)の注意が必要です。そのため定員を2名とし、対角線上に乗って使用しています。



## カフェテリアサルビア(学生食堂)

カフェテリアサルビアでは、全テーブルをビニールシートで十字に仕切り、斜めに着席して2名で使用しています。食事の後は必ずマスクを着用して会話をするようにしています。



後援会  
より

# 教育活動・防犯対策の 支援をしていただきました。



後援会より、教育支援・学生生活防犯対策支援として、タブレット端末・トレーニング機器・防犯カメラを寄贈していただきました。

## タブレット

タブレット端末・バッテリー・ポケット WiFi をセットで30組を購入しました。

遠隔授業の通信環境等で困っている学生に貸し出しをしています。



## フィットネス

フィットネスセンターに、上半身用4台、下半身用1台の計5台のマシンを設置しました。健康スポーツコミュニケーション学科の授業、部活動でのトレーニングなどで使用します。



## 防犯カメラ

不審車両の監視や敷地内の安全運転を指導するため、センターロード守衛室に2台の防犯カメラを設置しました。



# -開学から20年を振り返って-

## |学校名の変遷

2000年4月

近畿福祉大学

2008年4月

近畿医療福祉大学

2013年4月

神戸医療福祉大学



## |歴代学長紹介



初代学長  
**小谷 豪治郎**

2000.4.1～2002.12.18



2代目  
**大羽 蕉**

2003.1.22～2008.3.31



3代目  
**吉武 肇人**

2008.4.1～2010.10.31



4代目  
**杉本 一義**

2010.11.1～2012.5.31



5代目  
**都築 明寿香**

2012.6.1～



# 20年の歩み —開学から20年を振り返って—

2000年(平成12年)

- 姫路学院女子短期大学を改組転換し、近畿福祉大学開学
- 社会福祉学部社会福祉学科、介護福祉学科、福祉産業学科開設
- 第1回学園祭(播彩祭)を開催



近畿福祉大学



第1回学園祭

2001年(平成13年)

- ボランティア国際年記念「ふるさとクリーン作戦」に参加
- 第1回介護福祉学科介護実習(実習先でクリスマス会を開催)



ボランティア国際年記念



第1回介護福祉学科介護実習

2002年(平成14年)

- テクノエイドみらい館が開館(現:Salvia Hall)



2003年(平成15年)

- 後援会よりマイクロバスが寄贈される



マイクロバス



テクノエイドみらい館

2004年(平成16年)

- 第1回学位記授与式を挙行
- 福祉心理学科開設
- 日本車椅子ハンドボール連盟主催の「第1回日本車椅子ハンドボール競技記念大会」に本学も共催して参加
- 豊岡災害復興ボランティアに参加



第1回日本車椅子ハンドボール競技記念大会



豊岡災害復興ボランティア



第1回学位記授与式

2005年(平成17年)

- 社会福祉学科内に保育士養成のための児童福祉コースを設置
- ボランティア活動支援センター開設
- 後援会よりマイクロバスが寄贈される
- 多目的ホール・弓道場が完成



多目的ホール



弓道場



マイクロバス



ボランティア活動支援センター開設式

2007年(平成19年)

- NHK大学セミナー開講(講師:野球解説者 村田兆治氏)



NHK大学セミナー開講

## 2008年(平成20年)

- 校名を近畿医療福祉大学に改称。福祉産業学科を福祉健康スポーツ学科に改組
- 社会福祉学科を生活医療福祉学科へ、福祉心理学科を臨床福祉心理学科へ名称変更
- トレーニングルーム・ダンススタジオ・プール・スカッシュコートを備えたフィットネスセンター開館
- 福祉健康スポーツ学科開設シンポジウム開催 (講師:野球解説者 掛布雅之氏)



近畿医療福祉大学  
福祉健康スポーツ学科開設記念シンポジウム

福祉健康スポーツ学科開設  
シンポジウム

## 2009年(平成21年)

- 第10回学園祭(播彩祭)を開催



第10回学園祭

## 2010年(平成22年)

- 大阪市に大阪天王寺キャンパスを開設し、同地に経営福祉ビジネス学科を設置
- 地域の清掃活動に参加(大阪天王寺キャンパス)
- 校外学習で平城京を見学(大阪天王寺キャンパス)



大阪天王寺キャンパス

地域の清掃活動に参加

校外学習(平城京見学)

## 2011年(平成23年)

- 福祉健康スポーツ学科を健康スポーツコミュニケーション学科へ名称変更

## 2012年(平成24年)

- 東日本大震災被災地傾聴ボランティアとして宮城県で活動
- 福崎町主催・本学共催で「学童期食育教室」を実施
- カザフスタンで開催された「アジアベンチプレス選手権大会」で、社会福祉学科 藤原のどかさんが優勝
- 第1回リーダー研修を実施(大阪天王寺キャンパス)



学童期食育教室

アジアベンチプレス選手権大会優勝

第1回リーダー研修

東日本大震災被災地傾聴ボランティア

## 2013年(平成25年)

- 校名を神戸医療福祉大学に改称。生活医療福祉学科と臨床福祉心理学科の学生募集を停止
- 社会福祉学科(医療福祉・介護福祉・こども福祉(旧・児童福祉)・福祉心理を設置
- 神戸市に神戸三宮サテライトキャンパスを開設
- 校名変更に伴い大学の新しいロゴマークとキャラクターが決定
- 浴衣を着て日本文化を体験する、第1回七夕会を開催(大阪天王寺キャンパス)
- 大学内の施設を使ってサマーキャンプを開催
- 第1回学園祭を開催(大阪天王寺キャンパス)
- 「姫路食博2013」に運営スタッフとして参加し、姫路食文化協会より感謝状をいただく



姫路食博2013



第1回七夕会



ロゴマークとキャラクター



サマーキャンプ



第1回学園祭(大阪天王寺キャンパス)



姫路食文化協会より感謝状をいただく

## 2014年(平成26年)

- 大阪天王寺キャンパス1期生が卒業
- 第1回ふくさきマラソン大会を開催(福崎町共催)
- 丹波市災害ボランティアに参加



マイクロバス

クリスマス会

## 2015年(平成27年)

- 後援会よりマイクロバスが寄贈される
- クリスマス会を開催(大阪天王寺キャンパス)



マイクロバス

クリスマス会

## 2016年(平成28年)

- 後援会よりAED(自動体外式除細動器)が寄贈される
- 第85回日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ)に、健康スポーツコミュニケーション学科 李垣威千介君が800mで出場



インターンシップ報告会

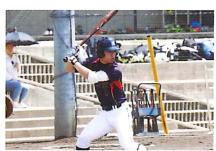
和魂英才のすすめ

## 2017年(平成29年)

- 学園創立60周年を記念して、都築仁子学園総長の「和魂英才のすすめ」がPHP出版より発刊
- インターンシップ報告会を開催(大阪天王寺キャンパス)
- 福崎町と包括連携協力協定を締結
- ベトナムのダナ大学・ホンバン国際大学と協定締結
- 7月豪雨被災地支援として倉敷市真備町へボランティアに参加
- 本学の卒業生がモデルとなった小説で、有川浩さんによる「明日の子供たち」の文庫本が幻冬舎より発売
- 独立リーグに入団 健康スポーツコミュニケーション学科 兼板優貴君 福島レッドホープス
- 初代「ふくさき観光大使」に、社会福祉学科 性全美穂さんが任命される



倉敷市真備町へボランティアに参加



独立リーグに入団



初代「ふくさき観光大使」



市川町ゴルフまつりPR大使

11

## 2019年(平成31年)

- 運動会を開催(大阪天王寺キャンパス)
- 市川町ゴルフまつりPR大使に、健康スポーツコミュニケーション学科 奥野瑞季さんと乗形清楓さんが任命される
- 第20回学園祭(播彩祭)を開催
- 男子バスケットボール部が関西学生バスケットボールリーグ(1部)に昇格
- 独立リーグに3名が入団 健康スポーツコミュニケーション学科卒業 松尾泰成君 徳島インディゴソックス
- 健康スポーツコミュニケーション学科 來間孔志朗君 兵庫ブルーサンダーズ
- 健康スポーツコミュニケーション学科 早川龍星君 福島レッドホープス



関西学生バスケットボールリーグ(1部)に昇格



運動会開催



第20回学園祭(播彩祭)



独立リーグに3名が入団  
松尾泰成さん



來間孔志朗さん



早川龍星さん



2代目「ふくさき観光大使」

## 2020年(令和2年)

- 人間社会学部に名称変更
- 2代目「ふくさき観光大使」に社会福祉学科 伊東明華さんが任命される

# 新任の教員紹介



経営福祉ビジネス学科

講師

わきなが ひろゆき  
脇長 宏行

「敵は己の中にあり」という意識で学生と向き合います。



社会福祉学科

教授

きたむら みつこ  
北村 光子

キラキラ笑顔のみなさんをお待ちしています。楽しいワクワクした学びと一緒にしていきましょう。



社会福祉学科

教授

あさお なおすけ  
朝尾 直介

公衆衛生医で教員としては新人です。学生とともに学べるのが楽しみです。



健康スポーツ  
コミュニケーション学科

助手

いわむら ゆみ  
岩村 裕美

学生と共に学び、楽しむ気持ちを大切に精進してまいります。

## 今後の主な学事日程

月	日 (曜日)	内容
10月	1日 (木)	後期授業開始
	16日 (金)、30日 (金)	※就職セミナー (3年) 15:00~16:00
	20日 (火)	学園創立者記念日 (休講)
11月	23日 (月祝)	月曜授業日
		※就職セミナー (3年)
		※基礎教養講座 (1~3年)
12月	28日 (月)	年内最終授業
		※就職セミナー (3年)
		※就職ガイダンス (1~3年)
1月	5日 (火)	後期授業再開
	22日 (金)	後期補講 (予備日)
	27日 (水)	後期補講 (予備日)
	28日 (木)	後期補講 (予備日)
	29日 (金) ~ 2月4日 (木)	後期試験期間 (補講含む) 予定
	31日 (日)	介護福祉士国家試験
		※就職セミナー (2~3年)
2月	5日 (金)・8日 (月)	※後期追試験期間 予定
	6日 (土)・7日 (日)	精神保健福祉士国家試験
	7日 (日)	社会福祉士国家試験
	15日 (月) ~ 19日 (金)	後期再試験期間 予定
		※資格取得講座 (1~3年)

※対象はあくまでも基準です。

セミナー・ガイダンス・講座は対面での実施を予定していますが、感染防止対策のためオンラインでの実施または中止となる場合があります。  
就職セミナー・教養講座の日程については、決まり次第連絡します。

## 播彩祭中止のお知らせ

毎年秋に開催しております学園祭（播彩祭）ですが、昨年は第20回で播彩祭の成人式という事で、これまで育んでこられた先輩方や教職員、地域の皆様方に感謝の気持ちを込めて、新しい企画も実施して盛大に開催する事ができました。今年は、新しい一歩を踏み出すために播彩祭実行委員会一同アイディアを出しながら、開催に向けて準備を進めていたところ、新型コロナウイルス感染症拡大という未だ経験のない事態が起こりました。3密防止など感染防止対策を元に様々な角度から開催を検討して参りましたが、終息の見えない現状から今年の開催は難しいと判断し、誠に残念ではありますが本年度は中止とさせていただきます。皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。私たち播彩祭実行委員会一同は、この悔しさをバネに、第21回では更に楽しい播彩祭となるように頑張りますので、今後とも応援よろしくお願ひいたします。

播彩祭実行委員会一同

発行日：令和2年10月1日

発 行：神戸医療福祉大学後援会

事務局 学生課 〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5

TEL (0790) 22-5125 FAX (0790) 22-6941 E-mail : gakuseibu@sw.kinwu.ac.jp

HP : <http://www.kinwu.ac.jp/>